

どんどん増える農地・重なる作業

例) 育苗田植え関連、耕起、小麦収穫、麦追肥、麦防除、播種床、麦刈りなど、麦防除、大麦刈、子実コーン播種、大豆播種、野菜作付けなど



節水型DDSRの

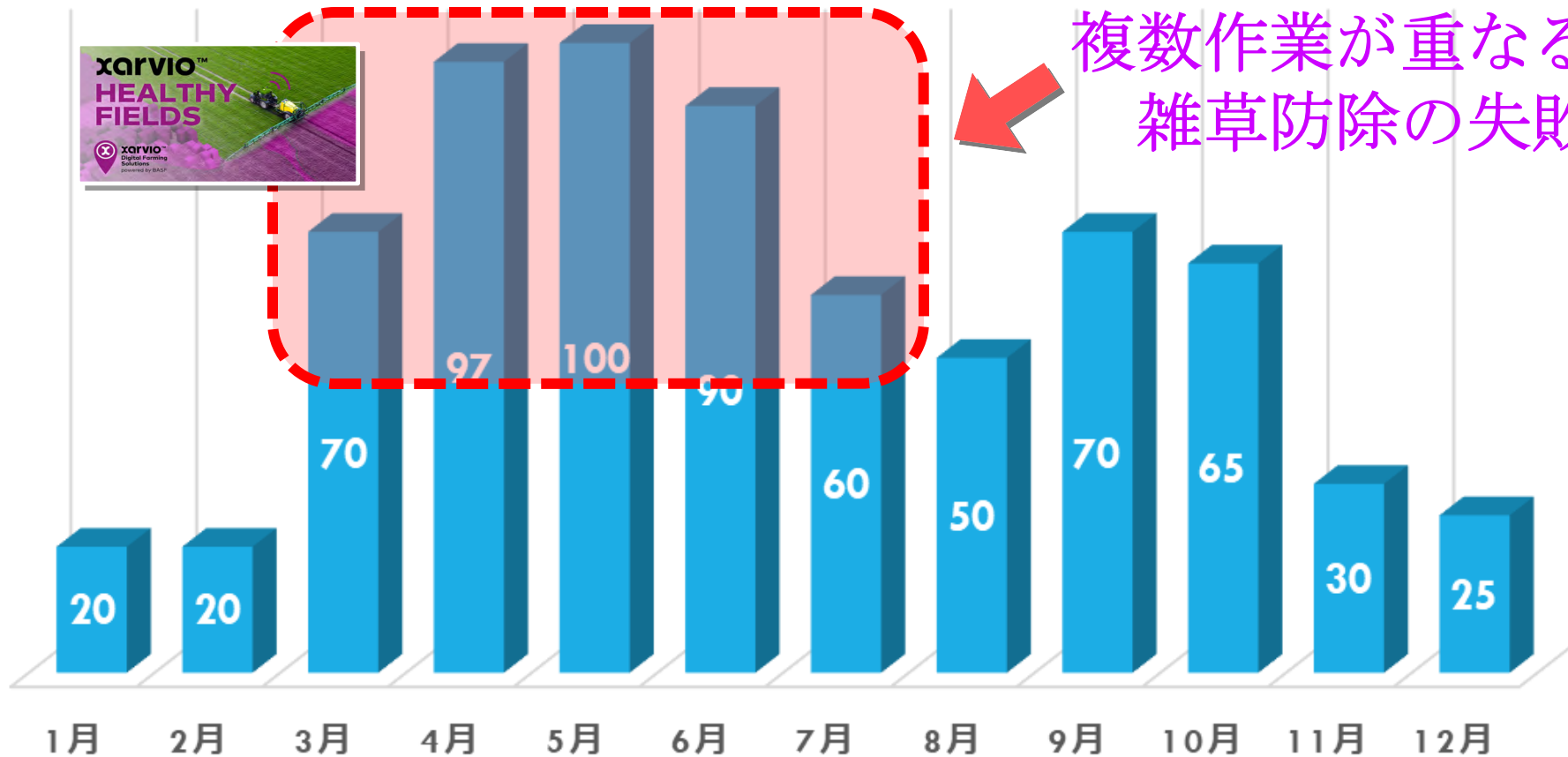
農繁期の雑草による失敗からの解放



思い切った耕作面積の拡大

x HFによるピークカット

月別仕事量（5月を100）



複数作業が重なるため
雑草防除の失敗が起きやすい

気づいた時には、既に手遅れ



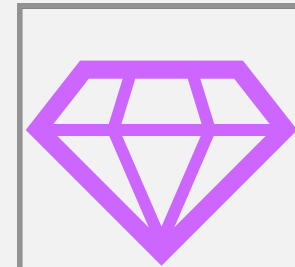
節水型DDSRの大きな2つの価値



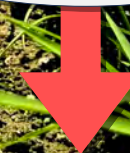
機械設備コスト**60%減**
投下労働時間**70%減**
当社比較



安定した生産と持続可能型農業



メタン**87%減**



低GHGの価値を川下へ

カーボンプレミアム国際認証

AgBalance

節水型DDSRでの課題と成功へのメソッド・補完 (収量と生産価格の重要性)

- ・ 機械体系の簡素化 (超低コスト)

- ・ 発芽出芽マネージメント
- ・ ウィードマネージメント
- ・ 直播による雑草イネ
- ・ DDSRによる連作障害



解決



解決



解決



BSで解決可能性

- ・ 分株のコントロール (止めるためには)
- ・ 適正肥料と追肥 (溶出と吸収) →
- ・ 栄養成長から生殖成長へのスイッチ (BS資材?)
- ・ 走り水のタイミング (植物の蒸散量に比例)
- ・ 出穂のコントロール (BS資材?)
- ・ ドローンによる高濃度農薬散布の実現



注意！ もちろん水は必要です！



農薬登録の迅速化

今年の課題 (官民タスクフォース)

- ☆超超低コスト栽培のため関係各位の推奨が必要 (もう査定はしてはいけない)
- ・令和7年産はしっかりと収量を上げる (雑草に負けた言い訳は必要なし)
- ☆農薬登録の迅速化
- ☆社会実装していくなかでの再現性の重要性
- ・種子・農薬・バイオステイミュラントによる更なるイノベーションが必要
- ・官民タスクフォースへの新たなメンバー追加とより新たな技術構築
- ☆メタン削減量について価値と効果を省内他局、他の部署との連携が必要
- ・実証体系の正確性と簡素化
- ☆2年目になる為、可能性のある登録外農薬・種子などの試験も進める (メーカー責任)

稲作レポートはこちらからFacebook

